

# 2011年以前の土壤汚染密度と、私たち「ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト」が実測した土壤汚染密度を比較しました

\*以下、特に断り書きのないデータは「環境放射線データベース」から得たものです

<http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top>

<トップページ>の画像



環境放射線データベースは、原子力規制庁が、関係省庁、47都道府県等の協力を得て実施した、環境における放射能水準の過去の約300万件の調査結果を収録しています。  
 こうしたデータについては、それぞれ、都道府県、国、日本分析センターにおいて有職者、職員による評価、チェックを経ているものです。  
 データベースの検索は、示されている手順どおりに条件を指定していただくだけで簡単に行うことができます。



はじめての方はこちらをご覧ください

[このデータベースの使い方](#)

より詳細な検索を行うことができます

[詳細検索はこちら](#)

海外の調査機関のページへリンクします

[海外の放射能調査の結果](#)

☆ **1961年～1965年** 大気圏内核実験が頻繁に行われた時期（1958年～1962年がピーク）  
 ただし、中国は1980年頃まで年1回実施している

1961年から1965年までの5年間に設定し、土壤・Cs137で検索をかけた後、Bq/kgで表示されているものと「検出なし」を削除すると、全国で241件がヒットした。

<検索条件>の画像

■上記の検索結果は、以下の検索条件で検索されたものです。

調査対象	放射能測定調査（放射能水準調査） （気象庁）放射能調査（防衛省）	放射能調査（海上保安庁） 食品試料の放射能水準調査	放射能調査（農林水産省） ラドン濃度測定調査	放射能調査 久米島環境調査
調査年度	1961年度～1965年度			
調査地域	全国			
調査試料	土壌 水田 畑地 草地 未耕地 その他の土壌			
調査核種	Cs-137			

[このページの頭にもどる▲](#)

☆ **1961年～1965年** 全国・241件

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>1,440</b>	<b>7,610</b>	<b>51.8</b>

・個人のブログに、1963年東京都杉並区高円寺で1,900Bq/m<sup>2</sup>という記載があった。

☆ **1986年～1990年** チェルノブイリ事故（1986年）を含む5年間では、全国で680件

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>1,260</b>	<b>14,700</b>	<b>7.1</b>

☆ **2006年～2010年** 福島第1原発の事故前の5年間では、全国で888件

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>485</b>	<b>3,100</b>	<b>7.4</b>

☆ **2017年～2018年** 「ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト」の調査

<注> 「ふくいち」の分析結果は、Cs137とCs134の合計

★ 東京都小金井市（2017.01.18 市内5ヶ所で調査 by「ふくいち」チーム小金井）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>4,470</b>	<b>7,910</b>	<b>2,610</b>

★ 福島県双葉郡浪江町（2017.03.31 避難指示解除されたエリアを、同年4月～7月にかけて調査・全315ポイント）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>858,000</b>	<b>6,780,000</b>	<b>31,400</b>

★ 福島県双葉郡富岡町（2017.04.01 避難指示解除されたエリアを、同年8月～11月にかけて調査・全432ポイント）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>605,000</b>	<b>3,400,000</b>	<b>19,000</b>

- ★ 福島県双葉郡葛尾村（2016.06.12 避難指示解除されたエリアを、2018年3月～6月にかけて調査・全363ポイント）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>241,000</b>	<b>1,990,000</b>	<b>34,900</b>

- ★ 福島県南相馬市原町区押釜（2017年12月に調査、全69ポイント）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>219,000</b>	<b>614,000</b>	<b>20,100</b>

- ★ 福島県南相馬市原町区片倉（2018年3月に調査、全53ポイント）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>308,000</b>	<b>1,900,000</b>	<b>57,900</b>

- ★ 福島県南相馬市原町区馬場（2018年7・8月に調査、全90ポイント、遭遇したホットスポットと圃場整備工事中の元仮置き場を除く）

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>246,000</b>	<b>1,570,000</b>	<b>46,400</b>

- ★ 福島県双葉郡大熊町西側（避難指示解除準備区域、2018年8月に調査全44ポイント）  
\* 国道288号線沿いは、ダンプカーの往来が激しく、危険なため調査しなかった

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>391,000</b>	<b>3,490,000</b>	<b>47,000</b>

- ★ 福島県南相馬市原町区高倉の山間部（2018年9月に調査、全89ポイント）  
\* 高倉ダム周囲と西方向（県道62号の一部と林道）および国見山林道

	Ave	Max	Min
土壤汚染密度(Bq/m <sup>2</sup> )	<b>712,000</b>	<b>2,540,000</b>	<b>123,000</b>